

今月は、保育の現場からの大特集です。最近の都心の子どもの減少は著しく、公立の幼稚園や小・中学校が次々に統合・廃校になっています。又、日本人の子どもが減って、かわりに十か国以上もの外国人の子ども達が入園している、国際色豊かな幼稚園や保育園もめずらしくありません。変わりつつある都心の状況の中で、どうしたら、質を保ちながら少人数を生かした保育や、言葉や習慣のちがいをのり越えた保育ができるか、考えねばならない時なのでしょう。

\*

先日、学生時代に所属していたオーケストラが、あの東京芸術劇場でマーラーの「復活」を演奏するというので、家族揃って聴きに行きました。子ども達に生の演奏を聴かせたいということだけでなく、お母さんもこんなことをしていた時があったのよ、と子ども達に知ってほしいという気持ちもありました。

娘の方は、学校でもふれる機会もあり

オーケストラには興味津々、充分楽しんでいましたよ。問題は息子です。演奏が始まるとすぐに、小さな声で「ねえ、いつおわるの?」。続いて、足をぶらぶら、ため息はつく、物を落とす……。飽きて退屈を態度で表しています。その都度「静かにね、シーよ」とたしなめ、やっとおとなしくなったと思ったら、いつの間にか眠っていました。

こんな緊張する場所に連れてきたのが無理だったのかな、まあ、めったにない経験だから、これも悪くはないでしょうと、親としては複雑な思いでしたが、帰りにレストランで食事をしたことで、結構、満足してしまった様子でした。

感想をきいてみると、「ドラゴンクエストの音楽もやってくれたらよかったのね」。息子はN響の演奏するその曲のCDをいつも聴いているのです。どうやら、マーラーよりもファミコンの音楽の方が、彼の想像力をかきたたせてくれるようです。

(K)

## 幼児の教育

第九十一巻 第九号  
(一九九二年九月号)

定価四五〇円 (本体四三七円)

平成四年九月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一一二一

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町三一

振替口座 東京九一一九六四〇

電話〇三三三二九二七七七八一

●本誌御購読の御注文は発売所フレーベル館にお願いします

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。